

令和5年度

第9回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和5年7月21日(金)
開会14時35分 閉会15時05分

場 所 教育委員室

令和5年度
第9回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 報 告

- ① 令和7年度大分県公立学校教員採用選考試験の早期化について
- ② 高校中退者等の学び直し支援について

(3) 協 議

- ① 大分県立図書館協議会委員の任命について

【内 容】

1 出席者

委 員	教育長	岡 本 天津男
	委 員 (教育長職務代理者)	林 浩 昭
	委 員	岩 崎 哲 朗
	委 員	高 橋 幹 雄
	委 員	鈴 木 惠 代
	委 員	岩 武 茂 代
事務局	理事兼教育次長	渡 辺 登
	教育次長	三 浦 一 雄
	教育次長	武 野 太
	教育改革・企画課長	重 親 龍 志
	教育人事課長	吉 雄 幸 平
	社会教育課長	森 山 貴 仁
	教育改革・企画課 総務企画監	小 野 裕 二
	教育改革・企画課 課長補佐 (総括)	新 貝 隆
	教育改革・企画課 主査	長 山 佳 史
教育改革・企画課 主任	久知良 周平	

2 傍聴人

5 名

開会・点呼

(岡本教育長)

委員の出席確認をいたします。

本日は、全委員が出席です。

それでは、ただ今から、令和5年度第9回教育委員会会議を開催します。

署名委員指名

(岡本教育長)

本日の議事録の署名については、岩崎委員にお願いします。

会期の決定

(岡本教育長)

本日の会議はお手元の次第のとおりです。会議の終了は14時55分を予定していますので、よろしくお願いします。

議 事

(岡本教育長)

会議は原則として公開することとなっていますが、協議第1号は、人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。

賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決) 全員挙手

(岡本教育長)

協議第1号は、非公開といたします。

(岡本教育長)

本日の議事進行は、始めに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行います。

【報 告】

① 令和7年度大分県公立学校教員採用選考試験の早期化について

(2課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、報告第1号「令和7年度大分県公立学校教員採用選考試験の早期化について」教育人事課長から説明をしてください。

(吉雄教育人事課長)

令和7年度大分県公立学校教員採用選考試験の早期化について報告します。

来年度の教員採用選考試験の第1次試験を、令和6年6月16日に実施することとしました。今年度から1月程度の前倒しとなります。

これは、教員確保が全国的な課題となる中、教員確保に向けた教員採用選考試験の工夫改善のあり方について、文部科学省、各都道府県等で組織する協議会において議論が行われ、5月末に今後の方向性について提示されました。その中で、各都道府県教育委員会においては、教員採用試験の早期化等の工夫改善を行うことと、まずは、来年度の第1次試験の実施日について、6月16日の一つの目安(標準日)として、できるだけ前倒しを積極的に検討することなどが求められたことによるものです。

また、本年度実施の選考試験の延べ出願者数は、昨年度から100人以上増加し、出願倍率も全ての校種で増加しましたが、その要因の一つとして、試験会場として新たに大阪会場を設けたことがあげられます。

このため、来年度の大阪会場での第1次試験実施は、関西圏の状況を注視ながら検討を進めます。

報告は以上です。

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(林委員)

九州ブロックは第1次試験の実施を早期化するということですが、全国的にはどうですか。

(吉雄教育人事課長)

全国的には、資料に記載しているとおおり、現段階では九州以外で5県が早期化する予定です。

(林委員)

今までは、全国一斉実施が主流だったのですか。

(吉雄教育人事課長)

九州のようにブロックごとに実施する自治体もあれば、独自に実施する自治体もありました。

(林委員)

前倒しをするということは、より良い人材を確保したいという狙いがあるということですね。

(高橋委員)

民間企業との差異を凶らないといけないのではないですか。民間企業も人材不足であり、採用の工夫をしているところです。教員採用試験も早期に実施するというので、良い人材を確保してもらいたいと思います。

(林委員)

受験生に負担が増えるということはないですか。

(吉雄教育人事課長)

負担が増えるとは考えていません。

(岩崎委員)

教員採用に同じような課題を持つ九州各県が、統一して前倒しをするということは、事前に九州各県の協議が行われたということですか。

(吉雄教育人事課長)

九州各県で協議をしました。早期化については九州共通の認識となっています。

(岩崎委員)

今年度、小学校教諭の出願者数について、大分県は募集活動の効果が出て、増えている状況ですが、九州の他県では苦戦していると聞いています。協議の中で、前倒しすることにより、どの程度の効果が見込まれるかの話はできていますか。

(吉雄教育人事課長)

具体的にどの程度の効果が見込まれるかという話は、これから進めていく予定です。

(岩崎委員)

早期化をしたという広報が大切になってくると思いますが、どのような広報を行なっていますか。

(吉雄教育人事課長)

SNSを活用した広報を積極的に行なっているところですが、さらに力を入れていきたいと考えています。

(岩武委員)

試験は、3週間程度早期化するのですが、合格発表は今年度と同時期のように。それでも効果があるということですか。

(吉雄教育人事課長)

すでに今年度の最終合格発表は、従来から1ヶ月程度早めているところです。それも含め、来年度の合格発表の日程は、今後協議を進めていきたいと思います。

(高橋委員)

私の経験値から言うと、学生は内定をもらえば、他の試験を受けなくなります。なので、前倒しをして、合格発表も早めた方がよいと思います。

(鈴木委員)

教員としてのやりがいなどは、今までもアピールしていますが、さらに広報していただきたいと思います。

② 高校中退者等の学び直し支援について

(2課〔教育改革・企画課、社会教育課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、報告第2号「高校中退者等の学び直し支援について」社会教育課長から説明をしてください。

(森山社会教育課長)

当課が令和3年度から実施している高校中退者等の学び直し支援について、説明と報告をします。今年度からは、国庫補助金を活用し、学び直し支援体制整備事業として実施しています。

この事業は高校中退者等の学び直しを支援するため、退職教員等による学習相談の窓口を設置し、県内各地における学習講座を企画・実施するとともに、関係機関による連携体制を構築するもので、具体的には、県内の中学校卒業後の進路未定者、高校中退者、不登校の生徒などの社会的自立を支援するための3つの取組を行っています。

第一に、おおいた学びのステップアップ協議会を実施しています。教育、福祉、雇用労働関係者及び、就労支援団体などの関係機関とのネットワーク化を図り、若者の社会的自立に向けた情報や課題の共有を行います。

第二に、学びのステップアップアドバイザーを配置しています。NPO法人地域の宝育成支援センターに運営を委託し、教員OB等が進路相談や学習支援を行っています。内容について、令和5年6月22日にOBSテレビの広報番組「オオイタコレクション」で放送された番組を短くまとめた映像をご覧ください。

(動画視聴)

昨年度までは、大分市内の4つの会場で相談等を行っていましたが、今年度からは大分市外でも開設する予定です。

学習支援では、高等学校卒業程度認定試験受験に向けた支援を行い、回数や時間などは利用者の希望に応じて決められます。

第3に、広報チラシ・ポスターの作成・配布を行っています。関係機関の他に、自動車学校やコンビニなど、若者の目に届きやすいところに配布しています。

続いて、昨年度の実績ですが、34名が学習相談を利用し、その内の16名を学習支援につなげることができました。学習支援は複数回実施され、延べ134回実施されています。

また、学習支援を受けた16名のうち、11名が高校卒業程度認定試験を受験し、7名が合格を果たしています。

今年度は6月現在で、22名が学びのステップアップアドバイザーを利用しています。

今後も、協議会を通じた関係機関との連携を深め、学びのステップアップアドバイザーの取組の普及を図っていきます。

報告は以上です。

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(岡本教育長)

資料の下段に写っている男性は誰ですか。

(森山社会教育課長)

令和4年度に学びのステップアップアドバイザーを利用した生徒で、高卒程度認定試験に合格し、大学受験にも合格した方です。大学生になり、現在はアドバイザー側として、次の世代の若者を支援してくれています。

(林委員)

SNSなどを通じて、若い人に広く広報して欲しいと思います。

(高橋委員)

このような支援をもっと充実させ、取り残される人がいないようにして欲しい

と思います。その人のニーズや状況に応じて支援しているところが、特に素晴らしいと思うので、なるべく多くの人が、この支援があることを知り、活用できるような整備体制を組んで欲しいと思います。

(鈴木委員)

爽風館高校を訪れた際に、この事業のポスターを見たことがあります。卒業できずに高卒認定試験を受ける生徒にとっては、自分で勉強するだけでは合格することが難しいと思うので、ぜひ多くの人が活用できるようにして欲しいです。

(森山社会教育課長)

昨年度は34名が利用していますが、大半が大分市内の方なので、今年度は中津市、津久見市、竹田市を中心に利用が増えるよう、広報を行いたいと思います。

(岩武委員)

少し疑問に思うことがあります。爽風館高校を設置した元々の趣旨は、このような学び直しを支援するためということが大きかったと思います。爽風館高校に通っても、なかなか卒業まで至らない現状があれば、元々の趣旨や意味合いも踏まえて、爽風館高校を強化していくことも考えないといけないのではないですか。

民間の方の支援も必要ですが、県として相当な予算をかけて爽風館高校を設置したのですから、教育委員会としても、爽風館高校が本来の役割を果たせるように、もっと努力する必要があるのではないかと思います。よろしくお願いします。

(高橋委員)

大分市内の会場の中で、爽風館高校を利用している人のデータなどはありますか。

(岡本教育長)

本日は高校教育課長も担当課もないため、後日回答します。

(岡本教育長)

それでは、先に非公開と決定しました議事を行います。その前に、公開の議事でその他、何かありますか。

(岡本教育長)

それでは、先に非公開と決定した議事を行いますので、傍聴人は退出してください。

【協 議】

協議第1号 大分県立図書館協議会委員の任命について

(2課〔教育改革・企画課、社会教育課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、協議第1号「大分県立図書館協議会委員の任命について」社会教育課長から説明をしてください。

(説明)

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(岡本教育長)

今回の協議の結果を踏まえて、準備を進めていきたいと思えます。

(岡本教育長)

最後にその他、何かありますか。

それではこれで、令和5年第9回教育委員会会議を閉会します。

ありがとうございました。